

「読むこと」(説明的文章) 学習指導案

第2学年国語科学習指導案

1 単元名 私はなぜこの図表を使うのか

「ハトはなぜ首を振って歩くのか」 (新しい国語2 東京書籍)

2 単元について

本単元は、図表を適切に使用しながら書かれた説明文である。実験の様子やハトの歩き方などが筆者の解説とともに示され、解釈の助けとなっている。しかし、「ぶれて不鮮明になった写真」など、一見すると内容の解釈にそれほど関わらない写真も教科書の中で示されている。それぞれの図表が本当に内容解釈の助けになっているのか、さらに必要な図表がないかを考える活動によって、「図表の効果」を習得することができる。本単元は学習指導要領の〔思考力・判断力・表現力等〕における「C 読むこと」の「ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。」を指導事項とする。

自作の説明文を作成→ハトで「図表の効果」を習得→「図表の効果」の観点から自作の説明文を見返し、加筆・修正する。教科書で習得した力を使い、自分の説明文を直すことで、自己の変容を実感させる。本文とは関わりのない図表や、教科書にはないが内容解釈の助けとなる図表を入れた教材文を教師が作成することで、本当に必要な図表は何かを考えさせ、図表の効果に迫る。また、教科書の選択している図表は何か予想させることで、教科書を批判的に見る力を育てたい。自作の説明文を直すときには、インターネットから図表を選択させ、挿入させていく。

3 単元の目標

- ・図表と説明文の関わりについて理解し、説明することができる。 【知識及び技能】
- ・図表の効果を活用し、自作の説明文を書くことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
- ・図表の効果を理解し、自分の説明文を見直すことができる。
【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・図表と説明文の関わりについて理解し、説明している。(2) イ	・図表の効果を活用し、自作の説明文を書いている。C (1) ウ	・学んだ図表の効果から、自分の説明文を見直し、加筆・修正している。

5 単元の学習指導計画(全6時間)

- (1) 自分でテーマを設定し、「好きな物」を紹介する説明文を書く。(習得) 2時間
- (2) 教材文を読み、図表の効果について考える(習得) 2時間(本時2/2時間)
- (3) 学んだ図表の効果から、自分の説明文を見返し、加筆・修正する(活用) 2時間

6 本時の学習指導

(1) 目標

- ・教材文の図表を吟味することを通して、図表のもつ効果に気づくことができる。

(2) 学習指導過程

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援
1 音読をする。		
2 課題について考える。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【学習課題】 F～Iの図から、一つ除くとすると何になるか。 </div>		
(個人→全体)		
3 図表の効果についてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶれて不鮮明になった写真は見づらいし、人の視界のものは必要ないからFは不要だ。 ・図や表はむやみやたらに使うのではなく、文章の説明をわかりやすくするために使うようにするものだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をしながら、必要かどうかの規準を文章に即しながら自分なりに考えるよう指示する。 ・生徒の言葉でまとめさせる。
4 教科書の図表の使い方を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の図表の使い方は60点ほどだ。なぜなら、ぶれて不鮮明な写真は必要ないし、ヒトの目とハトの目の写真などがあるとよりわかりやすいと思うからだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「教科書の図表の使い方は、100点満点中何点か」と追発問し、対話が生じるようにする。
5 学びの振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・図表は文章の内容をよりわかりやすくするために用いるものであると学んだ。 	

(3) 本時の評価

- ・教材文の図表を吟味し、図表のもつ効果に気づくことができたか。(観察、ノート)